STORY of HOUSE 09

諏訪湖を見渡す２階リビングの大空間

Builder：Mstyle house（エムスタイルハウス）　Place：諏訪市　Family：夫婦＋犬









移住して手に入れた
眺めのいい自由な暮らし

諏訪湖を望む高台の家が、東京から移住したKさん夫妻の住まい。眺望が素晴らしい23畳のLDKは、エムスタイルハウスのSE構法で実現しました。SE構法は、鉄骨造やRC造で用いられるラーメン構造を木造住宅に応用し、高い耐震性と自由な空間構成を両立する工法。建築士で構造エンジニアでもある奥様が、「構造性能と設備計画を特に重視して」信州でSE構法を手がける会社を探し、技術力とデザイン性に優れた同社に依頼しました。

もともと山登りなどで信州を訪れていた二人は、コロナ禍で働き方が変わったことを機に移住を決意。車で30分程で高原へ行けること。それでいて特急で約2時間で都内へアクセスできること。何より素晴らしい眺望と温泉が身近にある環境に惹かれ、この地を移住先に選びました。

A | C | D
B

A_許容応力度計算に基づくSE構法を採用し、高い耐震性を確保しながら、大開口による眺望と開放感あふれる大空間を実現した。　B_諏訪湖の眺望を取り込む23畳のLDK。ここまでの大空間と大開口を実現できたのも、SE構法を採用したからこそ。　C_諏訪湖を眺めながらくつろぐKさん夫妻。　D_眺めのいい高台に立つK邸。











E
F
G

H | I

E_三方向に設けた窓からは、諏訪湖や周囲の山々が織りなすパノラマのような景色が望める。キッチンからの眺めも抜群。「近くの木にジョウビタキやヤマガラが遊びに来ます」と、家にいながらにしてバードウォッチングも楽しんでいる。　F_キッチンはグレーを選択。陰影のある色調が空間に調和して、LDK全体を美しく演出している。　G_目につく場所の壁からスイッチをなくし、ストレージなどに集約。音声アシスタントの「Gemini for Home」でコントロールしている。　H・I_リビング横には3畳ほどのテラスを設けた。「澄んだ朝の空気が気持ちよくて、早起きになりました。山に沈む夕焼けもきれいなんですよ」。夏にはここから諏訪湖の花火も見えるそう。

家にいながら
オン・オフを切り替えられる空間構成

1階のワークスペースで仕事に集中し、疲れたら2階へ上がって、諏訪湖や山々を望むリビングで気持ちを切り替えているという夫妻。天井高約3m、余計な柱のないリビングは、このうえなく贅沢な空間です。内装は、心安らぐ「ヒュッテ」をテーマにしました。

「キッチンに立ち料理をしながら景色を眺められるのも気に入っています。以前は外食が多かったのですが、自炊を楽しむ機会が増え、健康的になりました」

リビングから続くテラスもお気に入りの場所のひとつだとか。朝や仕事の合間にコーヒーを淹れてひと息ついたり、歩いて5分程の温泉から帰ったらビールで喉を潤したり、ときには七輪でBBQを楽しんだり。

「ここにいると、身も心もスッキリととのうんです（笑）」

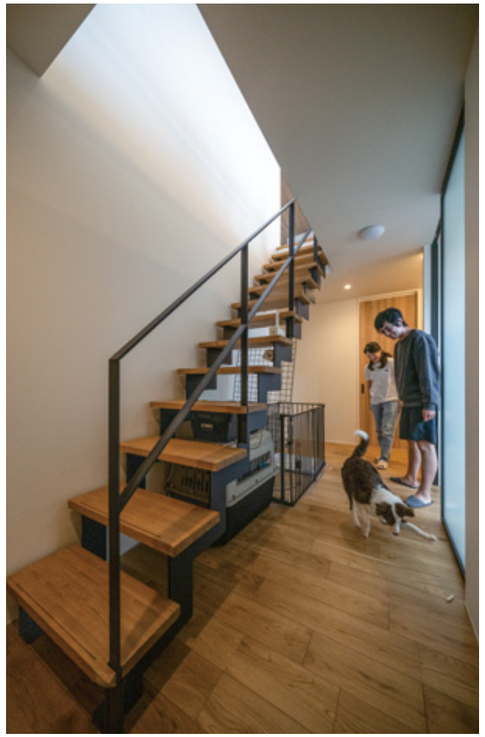
K邸は、「GX志向型住宅」の超高性能な省エネ住宅でもあります。ZEH基準を上回る断熱性能や省エネ・創エネ設備を備えたGX志向型住宅は、環境負荷を抑えつつ快適な住環境を実現します。

K邸も8.8kWの太陽光パネルを搭載し、電気自動車のバッテリーを住宅用蓄電池として活用するV2H（Vehicle to Home）を導入。これにより電気料金と売電収入の月々の収支は、真冬を除き、ほぼプラスになったそうです。

「東京の家と比べても、この家の方がずっと暖かい。乾燥を防ぐため愛用しているオイルヒーターや冷房時のエアコンも、心置きなく使えます」とKさん。家にいる時間が長いからこそ、消費エネルギーを抑えて、ストレスなく過ごせる毎日は、心にゆとりをもたらします。



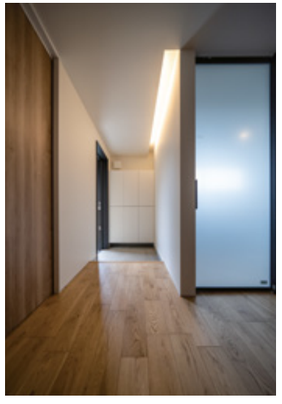


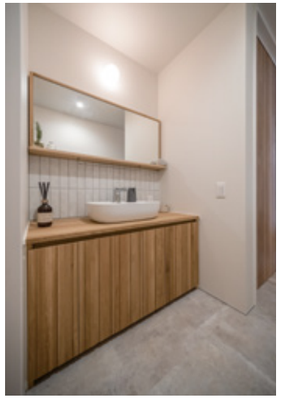


この土地、この家ならではの、心地よさと暮らす

移住してからは、「毎日がリトリートのよう。リラックスするためにホテルに泊まることもなくなりました」と話す二人。家づくりを振り返って、「仕事用のネットワーク設備や、監視カメラの複雑な配線も、用途に合わせて丁寧に施工するなど、難しい要望も一緒に考え、楽しみながら実現してくれました。エムスタイルハウスさんにお願いして本当によかったです」

景色を眺め、鳥の声を聞き、温泉に浸かる。働くことも、食べることも、くつろぐことも、この場所ならではの心地よさとともにある。理想の暮らしが、この家で少しずつ日常に変わりつつあります。





J｜L
K
M｜N
O
P｜Q

J_1階には、在宅で仕事をするKさん夫妻のワークスペースが。「集中しすぎて、時間の過ぎるのが早く感じるくらい。気分を変えたいときは、2階に上がってリフレッシュしています」 K_家族や友人のためのゲストルームは、オンラインミーティングなどで使うことも。 L_入居後にボーダーコリーを迎えた。「散歩から帰るとすぐ1階の浴室に直行できて便利です」 M_壁にはスイッチ類が一切なく、すっきりとした印象の玄関ホール。右手の半透明のドアを開けると、二人のオフィスにつながる。 N_来客時の使い勝手にも配慮して、洗面所と脱衣所はセパレートに。 O_8.8kWの大容量太陽光パネルと、V2Hを導入し、電気自動車のバッテリーを住宅用の蓄電池として活用している。 P_アプローチには石の階段を。ハーブガーデンや小さな家庭菜園も楽しんでいる。 Q_周囲の風景になじむクリーム色のK邸。ZEH基準を上回る断熱性能や省エネ・創エネ設備を備えた「GX志向型住宅」の基準に適合している。







BUILDER　設計／酒井 良子 さん

POINT 1　この家のコンセプト

諏訪湖の景色や周囲の木々の緑をできるだけ暮らしに取り込むこと。SE構法により、柱や壁にとらわれない自由な空間構成を実現しました。

POINT 2　家づくりのポイント

住まい手の暮らし方を丁寧にくみ取り、スムーズな生活動線をはじめ、日々をストレスなく過ごせる間取りや環境を整えることです。

POINT 3　家づくりで最も大切にしていること

住む方の思いや夢をできるだけ形にすること。何気ない会話から要望をくみ取り、よりよい提案につなげることを心がけています。

Mstyle house（エムスタイルハウス）
長野市青木島1-2-1
0120-268886（お客様専用）
https://www.m-stylehouse.jp